

ITツール(GIGA構想)の浸透モデルと新しい教育環境へのシフト

従来のPC、タブレット、ネットワーク環境は必要な時だけ使う道具としての位置づけでした。しかし、ITツールの力を最大限に活用するためには、日常づかいの文具としての位置づけと、関係者全員の認識の共有が不可欠です。

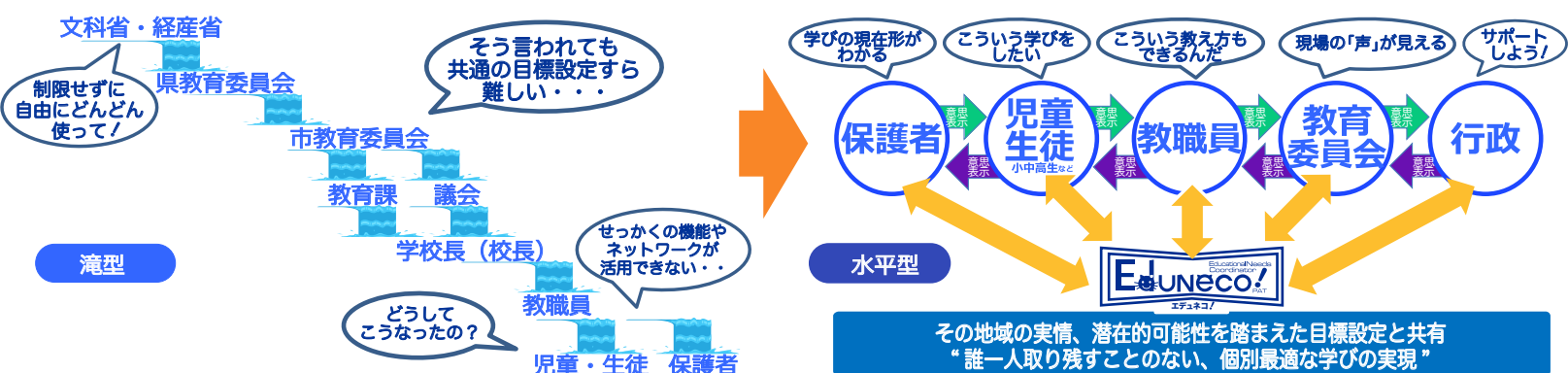
そのために、地域でどのような教育環境を目指すのか、そこにIT環境がどのように位置づけられるか、共通ビジョンと目標の確立、そして共有を行うコミュニケーションが不可欠です。この確立と共有、そして改善を並走サポート、コンサルも合わせて実現するのが、『エデュネコ!』です。

level point	これまで 1	これから 2	さらにこれから 3
授業づくり	ピアノ化 / 教具 	文具 	ネットワーク文具 
コミュニケーション	教師の考え 滝型	児童・生徒の興味 水平型	地域・学校外との協働 拡大水平型
重点領域	みんな同じ	相互に意思表示	個別最適と協働の一体
教育の形	学力を上げる		社会の創り手を育てる

* ピアノ化：IT ツールが、ピアノのようにその時だけ使う器具となること

新しい教育環境には滝型から水平型への転換が必要

これからの教育行政には、「橋渡し役」としての機能が求められます。しかし、従来の滝型コミュニケーションでは「橋渡し役」になれません。「橋渡し役」には、共通の情報(データやファクト)を踏まえながら意思表示し合う水平型コミュニケーションが必要です。『エデュネコ!』にはブラウザ画面から、設問回答することで、教育に関わる人々の「最適解」「納得解」をつくる独自の技術があります。



『エデュネコ!』で、できること

- 先生方の指導意思が把握できる
- 教員の力を無駄使いしない働き方改革
- 教育の大転換期であるGIGAスクールに対応するため地域の全ての人々の意思を集約した地域教育のビジョンを確立、共有したい!
- 児童・生徒の学習意思と先生の指導意思とのマッチングができる
- 児童・生徒の学習意思が把握できる
- 市民から議員、若者から年長者まで立場に関係なく誰もがデータやファクトを踏まえて、学校を核とした地域づくりの当事者として意思表示できる
- 地域の一大大行事運動会について最新の動向やデータに基づく意見を全員が楽しく有意義なものに
- 移り変わる現場の声を即時適切に反映できる授業づくり、学校づくり
- 子供主体の学校づくりの実現

実現する仕組み-「質の高い対話と意思決定」

回答者が回答を通じて知り、学び、考えた結果を回答者同士が参照することで、立場に関わらない相互理解を実現する特許取得のコミュニケーションモデル『ポリネコ!』を『エデュネコ!』に応用。



* マニフェスト大賞最優秀コミュニケーション戦略賞受賞

『エデュネコ!』では、並走型コンサルテーションと現場サポートも同時に提供。水平型コミュニケーションを成功に導きます。



サポートコンサル実績

島根県教育委員会
栃木県教育委員会
大阪府枚方市教育委員会
京都市立葵小学校など

お問い合わせ

合同会社 先生の幸せ研究所
共同開発: 株式会社ハンマーバード
www.hammerbird.jp

info@imetore.com

03-4405-0100